

教育内容	基礎分野 科学的思考の基盤	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	論理学 I	単位 1単位	科学的思考の基盤として、論理的に思考し文章表現できる能力を養う。			
担当講師	遠藤 正水 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	イントロダクション	「論理的」ということ	講義	遠藤 正水	
	2	「だから」の使い方①	演繹と帰納 接続表現	講義・演習		
	3	「だから」の使い方②	帰納的推論の注意点	講義・演習		
	4	様々な論理的思考	レポートなどの文章の構造	講義・演習		
	5	論の流れと文章作成①	起承転結を意識した文章を作る	講義・演習		
	6	論の流れと文章作成②	起承転結を意識した文章を作る	講義・演習		
	7	まとめ	まとめ	講義・演習		
	8	終講試験	筆記試験	試験(45分)		
評価方法	筆記試験(3割) レポート(7割)					
テキスト	看護学生が身につけたい 論理的に書く・読むスキル 医学書院					

教育内容	基礎分野 科学的思考の基盤	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	論理学Ⅱ	単位 1単位	科学的思考の基盤として、論文構成を学び看護者として論理的に思考するとともに判断能力・問題解決能力を身につける			
担当講師	遠藤 正水 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	「調べて伝える」ということ	研究の意味、目的、問いを問うこと	講義	遠藤 正水	
	2	「問い」の作り方	問いを作り、根拠づける仕方 引用の仕方	講義		
	3	レポートの構造	研究計画書、研究報告書の形式	講義		
	4	レポートの書き方①	これまでの講義を踏まえた実践	講義・演習		
	5	レポートの書き方②	これまでの講義を踏まえた実践	講義・演習		
	6	レポートの書き方③	これまでの講義を踏まえた実践	講義・演習		
	7	まとめ	まとめ	講義・演習		
	8	終講試験	筆記試験	試験(45分)		
評価方法	筆記試験(3割) レポート(7割)					
テキスト	看護学生が身につけたい 論理的に書く・読むスキル 医学書院 系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院					

教育内容	基礎分野 科学的思考の基盤	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	情報科学	単位 1単位	看護の分野で統計的なもの見方および考え方の基本を身につける 文献検索、情報処理操作技術を学ぶ			
担当講師	荒尾 雅一 病院事務職:10年以上 高島 真美 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	ガイダンス・看護と統計	統計を学ぶ意義と講義の進め方 エクセル操作の基礎	講義 演習	荒尾 雅一	
	2	平均、分散、標準偏差	平均、分散、標準偏差の説明 パワーポイント操作の基礎	講義 演習	荒尾 雅一	
	3	t検定(1)	t検定の考え方 宿題発表	講義 演習・発表	荒尾 雅一	
	4	t検定(2)	F検定後のt検定 宿題発表	講義 演習・発表	荒尾 雅一	
	5	ベイズ統計	ベイズ統計とは 宿題発表	講義 演習・発表	荒尾 雅一	
	6	χ^2 検定	χ^2 検定の考え方 最終試験の説明	講義 演習	荒尾 雅一	
	7	相関分析	相関・回帰の考え方 宿題発表	講義 演習・発表	荒尾 雅一	
	8	まとめ	これまでの講義のまとめ 宿題発表	講義(45分) 発表	荒尾 雅一	
	9	情報と情報化社会	情報の定義と特徴 情報化社会	講義	高島 真美	
	10	保健医療における情報	保健医療と情報	講義	高島 真美	
	11		看護と情報 医療における情報システム			
	12	情報と倫理	情報倫理と医療倫理 患者の権利と情報 個人情報の保護 コンピューターリテラシーとセキュリティ	講義	高島 真美	
	13	情報処理	既存の情報収集	講義	高島 真美	
	14	プレゼンテーション能力	プレゼンテーションに必要な能力とは プレゼンテーションの具体的方法	講義	高島 真美	
	15		プレゼンテーションの実際			
	16	終講試験	筆記試験	試験(45分)		
評価方法	荒尾講師50点(筆記試験(20点)、発表(30点))。高島講師50点					
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院 医療・看護のためのやさしい統計学 基礎編 東京図書					

教育内容	基礎分野 科学的思考の基盤	時期 2年次	科目のねらい				
授業科目	マネジメント論	単位 1単位	健全な医療は健全な経営および組織マネジメントから生まれる 社会における経済、経営のしくみを理解し、科学的な経営管理およびマネジメントについて学ぶ				
担当講師	中川 万喜子 教育経験:10年以上	時間数 15時間					
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる						
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる						
学習内容	回	項目	内容		教授法	担当講師	備考
	1	経済の仕組み①	経済の3主体 需要と供給 市場の失敗	市場の仕組み 価格の自動調整メカニズム	講義	中川 万喜子	
	2	経済の仕組み②	政府の役割 社会保障 医療費問題		講義		
	3	経営の仕組み①	組織のマネジメント(1) 組織とは何か チーム医療 目標管理	組織構造 マネジメントの体系 動機付け理論	講義		
	4	経営の仕組み②	組織のマネジメント(2) リーダーシップ 組織文化と組織改革	グループダイナミクス	講義		
	5	経営の仕組み③	医療の質の評価とマネジメント サービスマネジメント 医療の質の評価 病院組織における医療の質のマネジメント		講義		
	6	経営の仕組み④	対人関係のマネジメント アサーティブなコミュニケーション 援助的コミュニケーション		講義		
	7	経営の仕組み⑤	医療安全マネジメント 医療安全のための組織・体制づくり 医療事故の原因と防止対策 まとめ		講義		
	8	終講試験		筆記試験		試験(45分)	
評価方法	筆記試験(10割)						
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します						

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	心理学	単位 1単位	人間の三側面の一面としての心の機能について科学的に学ぶとともに、自己理解及び他者理解に活用する			
担当講師	岩原 昭彦 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	1 人々との良好な人間関係を築き、信頼関係と協働的な関係を形成することで自己決定を支援することができる					
	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	はじめに	心とはなにか 心理学を学ぶ意義 対人援助と心理学	講義	岩原 昭彦	
	2	感覚と知覚	外界を理解する心のはたらき 感覚のしくみとはたらき 知覚のしくみとはたらき	講義		
	3	記憶	記憶のメカニズム 感覚・短期記憶と作業記憶 長期記憶と忘却	講義		
	4	思考・言語・知能	思考とは:推論 言葉とコミュニケーション 知能とは	講義		
	5	学習	学習とは:学習方法	講義		
	6	感情と動機づけ	感情とは 感情のメカニズム 動機づけ	講義		
	7	性格とパーソナリティ	性格の理論	講義		
	8		性格の測定			
	9	社会と集団	対人的認知 態度と積極的コミュニケーション 集団とリーダーシップ	講義		
	10	発達	発達とは	講義		
	11		乳幼児の発達 児童・青年の発達 成人・高齢者の発達			
	12		心理臨床 心の適応と不適応 心理療法とは			
	13	医療・看護と心理	対人援助職	講義 講義		
	14		患者の心理 医療・看護職の心のケア			
	15	まとめ		講義(45分)		
16	終講試験	筆記試験	試験(45分)			
評価方法	筆記試験(7割) レポート(3割)					
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	人間工学	単位 1単位	人間と機器、環境との関係をヒトの形態、心理、生理学的特性から捉え、看護技術に関連する人間工学の基礎を学ぶ			
担当講師	門脇 達彦 教育経験:10年以上	時間数 20時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	6 看護実践を振り返り新しい知見を得て、人々の健康と豊かな生活に寄与することができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	関連科目
	1	質点の力学1	ガイダンス 速度と加速度	講義	門脇 達彦	基礎分野 心理学
	2	質点の力学2	ニュートンの運動法則	講義		
	3	質点の力学3	力学的エネルギーの保存則	講義		専門基礎分野 看護形態機能学Ⅰ 看護形態機能学Ⅱ 看護形態機能学Ⅲ
	4	剛体の力学1	トルクとは、剛体のつりあい	講義		病態と治療Ⅰ 病態と治療Ⅲ
	5	剛体の力学2	重心とその具体的解釈、重心と安定性、	講義		
	6	剛体の力学3	看護の場などにみられるトルクとその考え方	講義		専門分野 看護学概論 共通看護技術Ⅱ 共通看護技術Ⅲ
	7	流体	ベルヌーイの定理	講義		フィジカルアセスメント 経過に応じた基本技術Ⅰ 経過に応じた基本技術Ⅱ
	8	圧力1	気圧、血圧、酸素ポンプ	講義		成人援助論Ⅲ 成人援助論Ⅳ
	9	圧力2	低圧持続吸引、サイフォン、体圧と使用する単位	講義		成人援助論Ⅴ 医療安全
	10	人間工学のまとめ	講義の振り返りとまとめ	講義(45分)		
11	終講試験	筆記試験	試験(45分)			
評価方法	筆記試験(8割) レポート(2割) 但し、受験資格は履修規定、第10条によるものとする					
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 物理学 医学書院 完全版 ベッドサイドを科学する 看護に生かす物理学 学研メディカル					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 3年次	科目のねらい			
授業科目	哲学	単位 1単位	哲学の考え方を学ぶことによって、人や社会について、またその中での看護について、あらためて考えてみるができるようになる。ここでいう“あらためて考えてみる”とは、普段の見方から少し離れてものごとをみることや、「常識」に頼らず自分で考えること、論理的・批判的に考えることを含む。			
担当講師	小林 道太郎 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	哲学とは何をする事か	ソクラテスの探求。哲学的な思考法と態度 この授業の問い	講義	小林 道太郎	
	2	理性的であること	誰もが納得できる主張の基礎としての論理 対話のために	講義		
	3	古代の幸福論	幸福あるいはよく生きること 古代ギリシアの哲学思想	講義		
	4	科学と機械論	近代科学の基本的な考え方 機械論について	講義		
	5	心の哲学	脳はAIか クオリアという問題	講義		
	6	現象学と生活世界	意識から出発すること 生活世界と自然科学的世界	講義		
	7	他者	他者認識の不可能性と可能性 人生の物語	講義		
	8	生と死	生老病死をどう考えるか 苦しみと共感について	講義(45分)		事後課題:レポート提出
評価方法	レポート(6割) 授業時の提出物(4割)					
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	文化社会学	単位 1単位	保健医療文化の比較や保健医療社会学の理論・方法を踏まえて、健康・病気と社会との関係、保健医療における行為・関係・組織・制度を学び、さらには、保健医療の現代的課題を取り上げる			
担当講師	土肥 豊 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	社会学とは	何を扱う学問か 健康、病気、医療への視座	講義	土肥 豊	
	2	基礎概念と方法	社会学の基礎概念、社会的視点とモデル	講義		
	3	保健医療と社会学	社会学の諸領域と保険医療	講義		
	4	社会調査の理論と技法	社会調査、量的調査と質的調査、社会調査の倫理	講義		
	5	健康・病気と社会(1)	健康・病気の見方・とらえ方	講義		
	6	健康・病気と社会(2)	現代社会とストレス	講義		
	7	健康・病気と社会(3)	健康・病気の社会格差	講義		
	8	健康・病気と社会(4)	働き方・働きかたと健康・病気	講義		
	9	健康と病気	健康行動と病気行動、病経験、病の語り	講義		
	10	患者－医療関係	患者－医療者関係とコミュニケーション	講義		
	11	保健医療福祉の専門職	保健医療福祉関連職、専門職論、看護職論の現在	講義		
	12	ジェンダーと保健医療	性とジェンダー、保健医療からみた結婚と家族	講義		
	13	地域社会と保健医療	地域とコミュニティ、ノーマライゼーションと地域	講義		
	14	保健医療福祉システム	福祉国家と社会保障制度、医療システムの現代的変化	講義		
	15	ケアの社会学とまとめ	ケアの社会学と対象領域、ケアをめぐる現代的課題	講義(45分)		
16	終講試験	筆記試験	試験(45分)			
評価方法	筆記試験(10割)					
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院 系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	教育学	単位 1単位	教育の機能と本質を学び、主体的に学習するための自己の姿勢を養うことを目指す			
担当講師	折口 量祐 教育歴5年以上	時間数 15時間				
教育目標	2 ささまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	備考	
	1	教育学を学ぶために	1) 社会の中の教育と看護 2) 教育とは何か 「教育」の概念 3) 教育の対象 子ども観と発達 4) 社会変動と教育 5) 教育の組織化 学校	講義	テキスト第1章～5章を予習する	
	2 3	教育を成り立たせるもの	1) 教授 人を教えるということ 2) 訓育 他者とのかかわりを導く 3) 養護 教育の受け手を見まもる 4) 発達 教育を受けて成長する	講義 講義	テキスト第6章～9章を予習する	
	4 5	教育の営みを考える	1) 学びの場 家族と学校 2) 教育の目標と評価 3) 教育のメディア 教育をデザインする 4) 教育の担い手 専門性と専門職性 5) 教育の場の変動 教育環境の変化にどう対応するか	講義 講義	テキスト第10章～14章を予習する	
	6 7	現代教育の課題	1) キャリア教育 2) ジェンダーとセクシュアリティ 3) 特別ニーズ教育・インクルーシブ教育 4) 生涯学習 5) シティズンシップ教育	講義 講義	テキスト第15章～19章を予習する	
	8	終講試験	筆記試験	試験(45分)		
	評価方法	筆記試験(割) レポート(割)				
	テキスト	系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院				

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	人間関係論演習	単位 1単位	人間関係の基礎理論やコミュニケーション、カウンセリング技法を学習する 看護師となる学生の自己肯定観を高める			
担当講師	堀田 千絵 教育経験:10年以上	時間数 30時間				
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	コミュニケーション論を学ぶ意義	授業オリエンテーション 日常の中にもまれる役割に目を向ける	講義・演習	堀田 千絵	
	2	コミュニケーション論を学ぶ意義	良好な人間関係を築く意味とは ブレインストーミングとKJ法の活用から	講義・演習		
	3	自己知覚 I	自己分析 ポテンシャル発見の観点から:協同/直観/好奇心	講義・演習		
	4	コミュニケーション技法 I	コミュニケーションとは① 交流・コミュニケーションに活用する資料の作成	講義・演習		
	5	コミュニケーション技法 II	コミュニケーションとは② わからないことを共有する	講義・演習		
	6	コミュニケーション技法IV	自己変容のためのアプローチ① 協同・協働の重要性を探る	講義・演習		
	10					
	11	コミュニケーション技法 V	自己変容のためのアプローチ② プレゼンテーションと即興の重要性を体験する	講義・演習		
	12	自己知覚 II	活動を通じて変容した自己をとらえる ポテンシャル発見の観点から	講義・演習		
	13	リーダーシップ I	集団の中の自己	講義・演習		
	14	リーダーシップ II	リーダーシップと協働性	講義・演習		
	15	人間関係とは	まとめ	講義・演習		
	評価方法	レポート、授業時の提出物(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9条によるものとする				
	テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します				

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	基礎英語	単位 1単位	看護と医療に関する英文を読んで、内容を把握する力を養成することを目指す テキスト以外にもプリントで、看護と医療に関する今日的な話題の英文を読む			
担当講師	黒瀬 勉 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	看護師とは何か	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義	黒瀬 勉	
	2	看護の歴史	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		
	3	患者と看護師の関係	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		
	4	患者とのコミュニケーション	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		
	5	異文化の患者とのコミュニケーション	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		
	6	医師と看護師との関係	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		
	7	関連のある専門職の人たち	項目の英文の購読、単語と文法の説明	講義		
	8	終講試験	筆記試験			
評価方法	筆記試験(10割)					
テキスト	English for Nursing Students 看護のための総合英語					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	医療英語	単位 1単位	看護場面や日常に必要な英会話に焦点を置き、口頭での会話技術を学び、総合的な英会話能力を高める			
担当講師	海仲由美 他)フィリピン医療専門英語講師	時間数 30時間				
教育目標	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	5 人々の健康と豊かな生活を守る使命を自覚し、多職種と連携協調することによって支援することができる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	看護師としての自己紹介 テキスト Lesson 1	看護師として患者や家族へ英語でのあいさつの仕方 Mini test 1	講義	現地英語教師	
	2	症状・兆候の観察 テキスト Lesson 2	症状や兆候の英単語 Mini test 2	講義		
	3	院内の案内 テキスト Lesson 3	診察室や検査室、病棟などを案内 Mini test 3	講義		
	4	アセスメント(一般情報) テキスト Lesson 4	患者の一般情報を収集 Mini test 4	講義		
	5	アセスメント(患者) テキスト Lesson 5	患者の症状や兆候の訴え方、聞き取り方、返答の仕方 Mini test 5	講義		
	6	アセスメント(痛み) テキスト Lesson 6	ペインスケールを使用した英語での痛みの評価の方法 Mini test 6	講義		
	7	患者の観察 テキスト Lesson 7	現病歴、既往歴を英語で聴取 Mini test 7	講義		
	8	道の案内 テキスト Lesson 8	院外で道に迷って困っている方に病院までの行き方 Mini test 8	講義		
	9	療養上の指導 テキスト Lesson 9	外傷に対する患部のケアについて英語で指導する方法 Mini test 9	講義		
	10	バイタルサイン測定 テキスト Lesson 10	英語でバイタルサイン測定 Mini test 10	講義		
	11	問診聴取 テキスト Lesson 11	院外で道に迷って困っている方に病院までの行き方の説明 Mini test 11	講義		
	12	問診聴取(RoS) テキスト Lesson 12	レビューシステムの聴取 Mini test 12	講義		
	13	応急処置/BLS テキスト Lesson 13	応急処置/BLSの英語での対応方法 Mini test 13	講義		
	14	入退院案内1 テキスト Lesson 14	入退院における患者対応 Mini test 14	講義		
	15	入退院案内2 テキスト Lesson 15	入退院における患者対応 Mini test 15	講義		
評価方法	毎回実施する小テスト、出席状況で評価する					
テキスト	English For Nurses Lesson 1- 15 (HLCA Original Textbook)					
備考	学生の習熟度レベルや必要に応じて、テキスト以外の教材を取り入れるため、上記スケジュールは変更することがあります					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 1年次	科目のねらい			
授業科目	情報倫理	単位 1単位	インターネットがいつでも使える生活になり、自分で考えるよりもインターネットで調べたり、AIに質問したほうが素早く、楽に答えを得られるようになった。しかし、何事においても、自分が行動するためにした判断の責任は、自分が負うことになる。本科目では、行動や判断の指針となる情報を知り、科学的かつ倫理も含めた使い方、そして情報を適切に扱うための機器についての技術を習得する。			
担当講師	松本 寿一 経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	2 さまざまな場に暮らすあらゆる健康状況にある人々に対して、倫理的判断と科学的根拠に基づいた看護が実践できる					
	6 看護実践を振り返り新しい知見を得て、人々の健康と豊かな生活に寄与することができる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	情報倫理の基礎	情報や情報倫理について	講義	松本 寿一	
	2	日常生活と情報倫理	インターネットを中心とした情報利用について 個人情報を使ったデジタルコミュニケーション	講義		
	3	情報とセキュリティ	インターネットを含めた情報の安全について サイバーセキュリティ	講義		
	4	情報管理	AI・スマートデバイスについて	講義		
	5	計算機基礎	計算機を効率よく操作する基礎技術 ウィンドウ操作、ファイル管理	演習		
	6	表計算基礎1	今後に必要な表計算の基礎	演習		
	7	表計算基礎2	様々な計算技法、データのグラフ化について 実技レポート:5回から7回	演習		
	8	終講試験/まとめ				
評価方法	筆記試験:6割、実技レポート(表計算):4割					
テキスト	指定テキストはなし。講義レジュメ・教材資料は別途配布します。					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 2年次	科目のねらい			
授業科目	エンパワメント演習 I	単位 1単位	看護師となる学生の自己肯定観を高め、専門職者となるためのアイデンティティを養う			
担当講師	堀田 千絵 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	エンパワメントとは	エンパワメント・ライフサークルからとらえる自己 自ずと生まれる役割の重要性	講義・演習	堀田 千絵	
	2	自己知覚 I	ジェネリックスキルの観点から自己の現在と目標をとらえる 協働・直観・レジエンスとセルフ・コンパッションから	講義・演習		
	3	引き出されるエンパワメント I	ショートショートから 環境や場から発揮される自己の可能性	講義・演習		
	4	引き出されるエンパワメント II	視覚障がいのある人から学ぶことばの重要性	講義・演習		
	5	引き出されるエンパワメント III	ことばがある意味	講義・演習		
	6	引き出されるエンパワメント IV	発達からみるポテンシャル	講義・演習		
	7	引き出されるエンパワメント V	カウンセリングの視点でとらえる 病気のある子どもに寄り添う	講義・演習		
	8	自己知覚 II	まとめ ジェネリックスキルの観点から自己の現在と目標をとらえる	講義・演習		
評価方法	レポート、授業時の提出物(10割)					
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します					

教育内容	基礎分野 人間と生活、社会の理解	時期 3年次	科目のねらい			
授業科目	エンパワメント演習Ⅱ	単位 1単位	看護師となる学生の自己肯定観を高め、職業意識を持つとともに、対人援助職となる者として自分で自分をケアする能力を習得する			
担当講師	堀田 千絵 教育経験:10年以上	時間数 15時間				
教育目標	3 人々を変化する環境の中で、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる					
	4 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観や生活背景・信条を持つ人に尊重した行動がとれる					
	7 看護師としての生き方を模索し、キャリア形成の礎を築くための教養を身につけることができる					
学習内容	回	項目	内容	教授法	担当講師	備考
	1	エンパワメントとは	ポテンシャルを発見する観点から自己の現在と目標をとらえる 協働(ドールロケーションの活用)・直観・知的好奇心から	講義・演習	堀田 千絵	
	2	メタ思考でみるエンパワメントⅠ	どのような目標が重要かを学ぶ ポテンシャル発見を活用して:メタ認知・動機づけ・好奇心から	講義・演習		
	3	メタ思考でみるエンパワメントⅡ	アサーションとセルフ・コンパッション P-Fスタディとポテンシャル発見を活用して	講義・演習		
	4	生活から考えるエンパワメントⅠ	生活リズム・睡眠について考える①	講義・演習		
	5	生活から考えるエンパワメントⅡ	生活リズム・睡眠について考える②	講義・演習		
	6	学習から考えるエンパワメントⅠ	記憶のしくみとはたらきから日々の学習について考える	講義・演習		
	7	学習から考えるエンパワメントⅡ	記憶のしくみとはたらきから日々の学習について考える	講義・演習		
	8	まとめ	ポテンシャルの観点から自己の現在と今後をとらえる	講義・演習		
評価方法	レポート、授業時の提出物(10割)					
テキスト	指定テキストはなし 講義レジュメ・教材資料は別途配布します					